

みんなのた場

サークル仲問

全員の子どもを全員で見ると 河南地区中心に元気に活動

子育て支援サークル「どんぐり」

親子で好きな遊びを楽しんだり、母親同士で子育ての情報交換をしたりする自由なサークルです。毎月第2・第4金曜の午前10時から2時間、河南子育て支援センター「パプラ」で活動しています。

2003年に発足したのですが、一時、休止状態でした。近年、再開を望む声があり、再スタートしました。現在は河南地区を中心に母親8人、子ども10人で活動しています。



パプラ主催の年2回のバザーに出品するほか、メンバーと一緒にイベントに出かけて行って楽しむこともあります。

作業中も、会話が絶えませんが、子どもたちは部屋の中で自由に遊びますが、子どもが泣きだしたり、ぐずったりするとすぐに子どもの元へ。

活動で気をつけていることは「自分の子だけでなく、全員の子どもを全員で見る」だそうです。

代表の伊藤翔子さん(25)は、参加した当初は他の母親たちと交流するのが苦手で、その頃一緒に参加していた上の子も引込み思案だったそうです。

「でも、活動を通じて一人ともそんな苦手意識が薄れてきました。活動のおかげです。私のような人にぜひ参加してもらいたいです。子どもたちには遊び相手ができます。まずは見学を」と呼び掛けています。



協力し合ってバザーの準備をする参加者
(上)と、「どんぐり」の皆さん(下)

文化財 たんぽう

96

木製遺構見つかる

釜開門

生涯学習課



震災後、災害復旧工事で見つかった明治期の木製開門の基礎部分



災害復旧工事が進む釜開門

開門は水位の異なる運河や水路の間で、水面を上下させ船舶が航行できるように

にする施設です。北上運河には、水押の旧北上川との分岐点に国の重要文化財の

石井開門が、門脇の定川との分岐点には釜開門が建設されています。

平成28年2月、この釜開門の災害復旧工事で木製開門の遺構が発見されました。震災前の釜開門は大正期のコンクリート製でしたが、それ以前の明治期の木

製基礎部です。木製開門の遺構は全国的にも珍しく、明治期の土木技術を知る上で貴重な遺構です。

構造はマイターゲート式(合掌式)、全長約50m、門扉の幅は6m程度だったと想定されます。門扉が閉まる部分の合掌型の基礎矢板や、門扉の蝶番の役割を果たす鉄製金具のヒンジが確認され、当時、門扉がどのように設置されていたかが見てとれます。

現在は調査が終了し、この遺構は大部分が埋設保存される予定です。今後は津波や高潮を防御するともに、船を通航させる機能を持つ、新たな釜開門が建設される予定です。

(文化財たんぽう95に掲載した金華山灯台は平成29年6月28日付で国の登録有形文化財に登録されました)

キラッとパチリ

子ども保育課

石塚 明子さん 28歳
静岡県浜松市から派遣

子育て環境向上へ

「迷うよりもチャレンジしてみよう」と、初めての東北、初めての石巻にやって来ました。地域性を見てみたい、と感じたのが大きな動機でした。民間保育施設への給付



金支給や運営に関する業務を担当しています。石巻では施設ごとに丁寧な対応や、親身になって話し合う場面が多いですね。常々、現場の声を行政に反映し、一緒に課題に取り組んでいけるのが理想と感じていたので納得です。働いている方が仕事と子育てを両立できる環境を目指して仕事をしています。

きのこ体操のキャラバン隊がやってきたよ!

食育推進コーナー



6月2日、メロン保育園に「ホクト」のキャラバン隊が来園。妖精の「エリンギくん」、お姉さんの「キノちゃん」と一緒に元気いっぱい「きのこ体操」をしたり、「しめじのもぎとり」を体験したりし、大興奮の子どもたちでした。

そして、当日の昼食は、白いしめじの「アナピ」入りカレー。きのこのくしの楽しい時間を過ごし、きのこについて知ることもでき、みんなきのこ博士になりました!!

健康推進課
(内線2617)

まちの話題

安いねウニ 朝から順番待ち

「おがつ・夏・海鮮まつり」が7月2日、おがつ店こ屋街で開かれ、ウニやホヤなどが格安で販売されました。

旬のウニは約10個入りで2,000円で提供されました。早朝から順番待ちをする人もおり、用意した1,100箱は瞬間に完売しました。

海鮮丼や蒸しホヤなどの飲食ブースや、伊達の黒船太鼓の演奏などもあり、来場者は新鮮な魚介類と祭り気分を満喫していました。



雄勝地区

おがつ・夏・海鮮まつり

河北地区

石巻・桃生・牡鹿地方
神楽大会

8団体が伝統の演目を熱演

第40回石巻・桃生・牡鹿地方神楽大会が7月2日、河北総合センター「ビッグバン」で開催され、8団体が得意の演目を披露しました。

河北地区からは福地法印神楽保存会がスサノオノミコト伝説に基づく「五矢」を、飯野川法印神楽保存会が「日本武尊」を熱演。見せ場に差し掛かると、集まった神楽ファンから大きな歓声と拍手が送られていました。



元気にドリブルやシュート

牡鹿地区保育所で6月27日、県サッカー協会主催のサッカー教室が開かれました。

サッカーでやる気と自信を持ってもらう活動です。3～5歳の幼児13人が、ソニー仙台FCのコーチ2人の指導でドリブルやシュートを練習しました。

対抗試合では、シュートを決めて笑顔を見せたり、悔し涙があったりしました。コーチとの対抗試合では幼児チームが見事勝利を手にしました。



牡鹿地区

保育所でサッカー教室

北上地区

市防犯協会連合会
北上支部の総会

ネット架空請求 注意してね

市防犯協会連合会北上支部の定時総会が6月8日、北上総合支所仮設庁舎で開かれました。

行政委員ら約20人が出席し、本年度事業計画などを承認しました。

防犯講話では、河北署生活安全課の菅原堅一課長が、管内の犯罪情勢や振り込め詐欺、ネットを使った架空請求の手口などを説明し、注意を促しました。少年少女の被害・非行防止に関する五つの約束も紹介しました。



のびのび心身リフレッシュ

自宅などで高齢者の介護をしている人を対象としたヨガ教室が7月7日、桃生保健センターで開かれました。

日頃から介護を担う女性23人が参加し、講師と一緒に手足や背筋などを伸ばし、心身をリフレッシュしました。

ヨガ教室は、「せんだんの杜ものう」と市ものう地域包括支援センターが、本年度3回実施する介護教室の一環で行われました。



桃生地区

介護者向けにヨガ教室

河南地区

北村保育所の幼児が
特養ホームで交流

幼児たち訪問 心和む入所者

北村保育所の年長組15人が6月28日、特別養護老人ホーム一心苑を訪れ、入所者と交流しました。

元気いっぱい「ながぐつマーチ」を歌ったり、「昆虫太極拳」という体操やハンドベル演奏などを披露したりしました。

幼児たちによるお年寄りの肩たたきもあり、参加した28人のお年寄りたちは顔をほころばせていました。交流会は恒例行事で9月も行われる予定です。



外国出身者 仲良く文化交流

市内在住の外国出身者が暮らしの知識を学ぶ「じゃばNeeds塾」の本年度第1回事業「多文化フェスタいしのまき」が7月8日、向陽地区コミュニティセンターで開かれました。

中国やフィリピンなどの出身者や一般市民ら約20人が参加。サークルダンスで楽しく体を動かした後、日本語や中国語など多言語での絵本の読み聞かせを楽しみました。塾は本年度、7、8回開催予定です。



石巻地区

第1回じゃばNeeds塾

石巻地区

コンビニ防犯ネットワーク
研修会

特殊詐欺被害 水際で防止!!

石巻署と管内のコンビニエンスストアで構成する「コンビニ防犯ネットワーク」の研修会が6月14日、同署で開かれました。

約30人が参加し、特殊詐欺被害の水際防止を学びました。石巻署員が、電子マネーを購入させてお金をだまし取る手口が増えていることなどを説明しました。5月に架空請求詐欺被害を防いだ市内コンビニ3店舗の担当者らには感謝状が贈られました。

